

受験番号	氏名

# 令和7年度

## 貞静学園中学校

### 適性検査型入試【適性1】

試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開かず、下記の注意事項をよく読むこと。

#### 注 意 事 項

1. 問題用紙は8ページです。解答用紙は別紙（1枚）になっています。
2. 試験開始の合図で、問題用紙と解答用紙に、受験番号・氏名を正しく記入すること。
3. 試験開始後、「問題用紙のページ数と解答用紙」を確認し、足りない場合は静かに手を挙げ、試験監督者に申し出ること。
4. 解答には、必ず鉛筆、またはシャープペンシルを使用し、解答用紙の記入箇所をまちがえないように答えを記入すること。
5. 必要があれば、ラインマーカーまたはボールペンを使用してもよい。
6. 試験終了の合図で、試験監督者の指示に従って解答用紙と問題用紙を提出すること。

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

(\*印のついている言葉には、本文の後に「注」があります。)

困難に面したとき、三つの選択肢がある。その状況を打開するか、受け入れるか、あるいは逃げるか。小さなコケは落ち葉を吹き飛ばしたりするほどの、状況を打開する力はない。もちろん、動物のように移動することができないので、逃げるわけにもいかない。そこで、コケは「状況を受け入れる」ことを選んだ。

あ を敷いたコケは覚悟を決め、もてる能力のすべてを使って目の前に立ちをはだかる落ち葉に対処する。巧みに避難したり、耐え忍んだり、時には自らの生涯に見切りをつけて、子孫に未来を託したり……。一見するとか弱いコケではあるが、「なんととしても次世代にバトンを託す」その生き方は強くたくましい。このたくましさ小さく可愛らしい姿とのギャップもまた、コケの魅力の一つである。

降りしきる落ち葉をどうやり過ぐすか。シンプルに考えれば、落ち葉に埋もれないところに生えればいい。例えば、垂直になった木の幹や少し小高くなった岩の上だ。しかし、こうした場所には土壌が発達しないために、ふつうの木や草は生えられない。

だが、コケは違う。コケは、葉の表面から直接水や栄養分を吸

収できるため、土壌がなくても問題ない。都市のコンクリートの上でコケがみられるように、木の幹や石の上に生えることは、コケにとっては朝飯前。落葉樹林をぐるりと見渡すと、落ち葉が埋もれる\*林床にコケは少なくとも、木の幹や石の上に大きなコケの\*群落があることに気がつく。コケならではの特徴を利用して、巧みに落ち葉を避けているのだ。ほかの植物と異なる体のつくりをもつコケの強みが、ここでもいぶし銀のように渋く光る。

しかし、ときには降り積もる落ち葉に負けじと森のなかで踏ん張るコケもある。小さいがゆえにコケは落ち葉に覆われてしまえば、話は簡単だ。落ち葉に覆い隠されない程度に、大きくなればいい。コケは小さいものだと思われがちだが、ときには雑草のように立派な\*体軀をもつタイプもある。こうしたコケの一つがコウヤノマンネングサ。ヤシの木のような形をしており、一見、コケにみえないかもしれない。この姿形から、昔の人はこれをコケではなく雑草の一種だと思い、このコケの名前に「グサ(草)」とつけたのだろう。コウヤノマンネングサは体サイズが大きいだけでなく、地下の茎(地下茎)でまわりの個体とつながり、一塊の大きな群落をつくる。これほどの群落サイズになれば、少々の落葉ならば耐え忍ぶことができる。

【中略】

巧みに避難して、耐えて耐えて耐えて……。続く戦略は「かろうじてかわす」だ。

落葉樹林のなかでも、斜面の土砂が崩れるなどして、ときどき小さな\*裸地らちができることがある。こうした裸地は再び落ち葉が積もったり、あるいは崩れたりしてすぐになくなってしまいう運命にある。しかし、この裸地が消えてしまいう前に、侵入・繁殖はんしよくを済ませてしまえば、問題はない。

この一時的な環境かんきやうを巧みに利用しているのがハミズゴケ。漢字で書くと「葉見ず苔こげ」。葉がほとんど退化してしまつた姿に由来している。そのため、土の上からニョキッと\*胞子体ほうしたいが生えているような姿が印象的だ。

ハミズゴケのシンプルな形は、すべてはいち早く生長し、繁殖するためのもの。裸地が消失するまでの限られた時間しかない状況では、茎や葉をつくるための時間もエネルギーも惜おしい。そこでハミズゴケは葉や茎をほとんどつくりえず、足元に広がっている糸いとのようなもの（原系体げんしたい）で光合成を行う。そして光合成で得られるエネルギーのほとんどを胞子体の形成へとまわし、いち早く繁殖を行うのだ。すなわち、ハミズゴケは自らの体への投資を切り捨て、繁殖に集中投資することで、素早い\*世代交代を可能にしているといえよう。

（大石善隆『コケはなぜに美しい』  
おおいしよしたか うつく

〔注〕

\*林床…森林の地表面。

\*群落…一定の自然環境で互いにつながりをもつて生育している異なる植物の集まり。

\*体軀…体格。

\*裸地…植物や建築物などに覆われておらず、土がむきだしになつている土地のこと。

\*胞子体…世代交代を行う植物で胞子を作るもの。

\*世代交代…二つの体（有性・無性）が生活環境の中に交互に現れること。

問1

あには、「川や沼を背にして退くことができな  
いことから、失敗すれば滅びるしかない」という覚悟で行動する」と  
いう意味の故事成語が入ります。  
あに入る故事成語  
を答えなさい。

問2

傍線部「ハミズゴケは自らの体への投資を切り捨て、繁殖はんしよく  
に集中投資する」のはなぜですか。三十文字以内で答えなさい。

問3

この文章のテーマを端的に表すと次のようになる。  
いに入る言葉を本文から五文字で抜き出しなさい。

「**コケの**い」

問4

あなたが困難に直面したときにはどうしますか。あなた  
の考えを次の条件にしたがって書きなさい。

条件1 困難に直面したときにどうするかを述べたうえで、  
そのように考えたその理由を述べなさい。

条件2 解答は原稿用紙の正しい使い方  
で書き、書き出しは  
一まずめから空けて書き始めなさい。

条件3 文章は五十文字以上六十文字以内で書きなさい。  
、や。 や 「なども一字と数え、改行などで  
空いたまですも一字数えます。

□ 次の文章Ⅰと文章Ⅱを読んで、後の問いに答えなさい。

(\*印のついている言葉には、本文の後に「注」があります。)

### 文章Ⅰ

生命は

吉野 弘

生命は

自分自身だけでは完結できないように

つくられているらしい

①花も

めしべとおしべが揃っているだけでは

不十分で

②虫や風が訪れて

めしべとおしべを仲立ちする

生命は

その中に\*欠如けつじょを抱き

それを他者から満たしてもらうのだ

世界は多分

他者の\*総和

しかし

互いに

欠如を満たすなどとは

知りもせず

知らされもせず

ばらまかれていている者同士

無関心でいられる間柄

ときに

うとましく思うことさえも許されている間柄

そのように

③世界がゆるやかに構成されているのは

なぜ？

花が咲いている

すぐ近くまで

蛇あぶの姿をした他者が

光をまといつて飛んできている

私も あるとき

誰かのための蛇だったろう

あなたも あるとき

私のための風だったかもしれない

—詩集「北入曾」

この世は実に「関係だらけ」という詩で、「カンケイない！」というせりふとは真まっ向まうから対立たいりつしています。

「カンケイない」という流行語が発生したのはもう二十年も前だったような気がしますが、はじめて聞いたときはびっくりしました。都合の悪いことは\*一刀兩断いちとうりょうだんこの流行語で切きってすて、親子の間も、世の中のできごとまじごとも知しったことかというポーズがはやりました。おそろしく貧ますしい精神しんせいを感じて、さむざむとしました。が、今にもずっと尾をひいて、この言葉はたえず聞かされます。

生命は

その中に欠如を抱き

それを他者から満たしてもらおうのだ

この認識はつつましく、正確であり、\*敬虔けいけんな祈りのようにも聞こえます。そして逆にまた、実に豊かな精神の在りようを示してもいます。

庭に咲く大きな芙蓉ふようの花をみていたとき、この詩ができた、と書いていますが、④詩は一粒の砂からも世界を認識できるといわれ、吉野弘はしばしばそういう詩のつくりかたをしています。

身近のちっほけで\*些細ちほけなことから出発して広大な領域へい

たる道。花にはめしべとおしべがあり、虫の媒介ばいがいによってやっと結実けつじつできることは誰でも知っています。それが人間の男女、他民族間、文化現象をもさしつらぬく、いわば生命の「欠如の原理」であることまでは、ふつう発見できないわけです。

表現も余分なものはいっさいふりはらい、方程式のような

\*明晰めいせきさ。それもつめたさではなく、ふかぶかとしたあたたかささとしで悟さとらせてくれるので、詩をよむ喜び、解けた喜びもひとしおです。\*造物主ぞうぶつしゅは粹いきだなア、なんてうまくつくったのだろう……という\*感嘆かんだんも含まれています。神とか仏とか名づけていないだけ、いつそうものの姿が曇くもりなく、新鮮に迫せまってきます。

どんなにがんばっても一人では絶対ぜったいに生きられないことに気づくのは、けれど峠路とうげみちにさしかかった頃でないとだめなのでしようか。もつと若い頃わかいころにこの詩を知っていたら、かつての\*不遜ふそんさや、人を頼たのまぬ傲慢ごうまんさが、もつと謙虚けんきょに、ゆるやかに、かれん(?)でありえたかもしれないと思ったりします。今ごろになつて、ゆきずりの人や知人から受けた、有形無形のすばらしいものを、一つ一つ数えていたりして。

けれど吉野弘も五十代になってこの詩を書いたのですから、もつと早く知りたかったというのも無理な話でした。

(茨木のり子『詩のこころを読む』)

## 文章Ⅱ

他者なしでは完結することの不可能な生命、そして、お互いが、お互いにとって、必要な他者である関係、それは\*大仰おおきように言えば、私の感じとった世界の構造なのであった。

いうまでもなく私は、ここで、花と虫、花と風、花と水の関係だけを見ているのではない。この関係は、そのまま人間同士の関係なのである。つまり、私は、あるとき、ある人にとっての虻はちや蜂はちや風であり、ある人の幸福や恋や、時には不幸の実るのを、知らずに助けているのであり、又、私の見知らぬ誰かが、私の花の結実を助けてくれる虻や蜂や風である筈はずなのだ。

この「他者同士」の関係は、お互いがお互いのための虻や風であることを意識していない関係である。ここが良い。他者に対して、一々、礼を言わなくてもいい。恩おんに着せたり、又、恩に着せられたりという関係がない。

世界をそのようにつくった配慮はいりよは、実に巧妙こうみょうで粹いきなものだと思つづく。ひとつの生命が、自分だけで完結できるなどと万が一にも自惚うぬぼれないよう、すべてのものに欠如を与え、欠如けつじゆの充足じゆうじゆくを他者に委ねた自然せつりの摂理みようの妙を思わないわけにはゆかない。

⑤ 私は今日、どこかの誰か実るための虻はちだったかなと想像することは、なんと楽しいことだろうと、私は思うのである。

(吉野よしの 弘ひろし 『現代詩入門』)

〔注〕

- \* 欠如：足りないこと。
- \* 総和：すべてを合わせた数。
- \* 一刀両断：思い切つて物事を処理すること。
- \* 敬虔：神仏などを深くうやまうこと。
- \* 些細：取るに足らないさま。
- \* 明晰さ：明らかではつきりしていること。
- \* 造物主：宇宙のすべてのものをつくり、支配する神のこと。
- \* 感嘆：感心してほめること。
- \* 不遜：おごりたかぶっていること。
- \* 大仰：おおげさなこと。

**問1**

傍線部①「花」、②「虫や風」は、何を意味していますか。  
 文章Ⅰの詩中の言葉二字でそれぞれ答えなさい。

**問2**

傍線部③「世界がゆるやかに構成されている」とありますが、これは自己と他者のどのような関係のことですか。  
 文章Ⅱの言葉を使って四十字以内で説明しなさい。

**問3**

傍線部④「詩は一粒の砂からも世界を認識できる」について、この詩の作者吉野弘さんはどのようにとらえていますか。  
 文章Ⅱの中から適切な部分を七字で抜き出しなさい。

**問4**

傍線部⑤「私は今日、どこかの誰かが実るための虻だったかなと想像することは、なんと楽しいことだろう」について、(1)(2)の問いにそれぞれ答えなさい。

(1) 「どこかの誰かが実るための虻だった」とはどのようなことですか。二十字以内で説明しなさい。

(2) あなたが体験した「どこかの誰かが実るための虻だった」ことについて、次の条件にしたがって書きなさい。

条件1 段落構成については、次の①から③にしたがうこと。

① 第一段落には、あなたの体験を、誰のために、どのようなことをしたのか、具体的に書きなさい。

② 第二段落には、第一段落をふまえて、その時あなたが果たした役割はどのようなものだったのか書きなさい。

③ 第三段落では、この体験から今後あなたは他者とどのような関係をつくっていききたいか書きなさい。

条件2 その他については、次の①から③の条件にしたがうこと。

① 解答は原稿用紙げんこうの正しい使い方で書き、書き出しは一ます空けて書き始めなさい。

② 言葉を正しく使い、文章は百八十字以上二百十字以内で書きなさい。

③ 、 や 。 や 「なども一字と数え、改行などで空いたマスも字数に数えます。



# 適性検査1 模範解答

一					
問4	問3	問2	問1		
<p>【採点基準】（減点する）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>条件に合った解答がされているか。</li> <li>解答紙の使い方に間違いはないか。</li> <li>誤脱字はないか。</li> <li>指定数字の範囲内か。</li> <li>言葉の使い方の表現に不備はないか。</li> </ul>	<p>た く ま し さ</p>	<p>せ る た め 。</p>	<p>裸 地 が 消 え て し ま う 前 に 、 侵 入 ・ 繁 殖 を 済 ま</p>		
			<p>※裸地が消失するまでの限られた時間で繁殖するため。</p>		

二			
問4	問3	問2	問1
<p>(2)</p> <p>【採点基準】（減点する）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>条件に合った解答がされているか。</li> <li>解答紙の使い方に間違いはないか。</li> <li>誤脱字はないか。</li> <li>三段構成になっており、改行が適宜なされているか。</li> <li>指定数字の範囲内か。</li> <li>言葉の使い方の表現に不備はないか。</li> </ul>	<p>自 然 の 摂 理 の 妙</p>	<p>で あ る こ と を 意 識 し て い な い 関 係 (の こ と) 。</p>	<p>① 生 命</p> <p>② 他 者</p>
			<p>(1) 自 分 が 見 知 ら ぬ 誰 か を 助 け て い る こ と 。</p>

受験番号

氏名